

PPP お互いを思いやることのできる社会  
男女共同参画社会の実現へ向けて...

Q 島根県男女共同参画サポーターって

A 島根県から委嘱され、市町村や県と一緒に啓発活動を行っています。講演会や、寸劇等の上演を通じて身近なところから男女共同参画を感じてもらおう活動を行っています。  
【町内サポーター】  
大内康子、大羽ミヤ子、西蔭千恵美、清水留美子、中村俊子  
敬称略

ふるさととは大きな家族。今年で13回となった木部地区通学合宿が6月28日から7月2日の5日間で行われました。第1回目から手伝いをし、年齢を重ねてもこの期間はとても楽しく、子どもたちに色んなことを教えられる機会となっています。

真剣に取り組む姿は、社会の偏見やしきたりを「ろ過」してくれている様に思えます。とはいえ、ボランティアの皆さんも、大変な中、それぞれの役割を担い、損得なしで楽しんでいられるように思えるのは、私の思い込みでしょうか。

食事指導と泊まりのボランティアでは年々疲れが大きくなりますが、不思議な楽しさがあります。なぜかと考えると「好きだから…」という答えが心の中で返ってくるのです。

子どもの純粋な姿に感激！  
島根県男女共同参画サポーター  
大内 康子さん

ろ ろ過しよう 偏見しきたり 思い込み

つわみん活動日記

6/13 第5回畑追 ぼたるとあじさい祭り

6/22 石見地区商工会女性部研修大会

6/27 つわのSLまつり

J R山口線沿線のキャラクター、しまねっこ・ちよるる・湯田ゆう子と一緒にPRやダンスを行い、まつりを盛り上げました。

6/29 日本遺産フォーラム(東京)

文化庁が主催した日本遺産フォーラムで町のPRを行いました。



日本遺産フォーラムで下村文部科学大臣と握手をするつわみん



つわみんへ出演依頼などができます。詳しくは下記担当課までお問合せください。  
【お問合せ先】商工観光課 ☎ 72-0652

壊れない作業道づくり研修



8月2日(日) 参加無料  
講演 @ 日原山村開発センター 9:00-12:00  
現地研修 @ 津和野町溪村地内 13:00-16:00  
【申込・お問合せ先】農林課 ☎ 72-0653

津和野町では間伐や間伐材搬出を行う「山の宝でもう一杯！」プロジェクトや自伐型林業に取り組んでいます。これらを推進し、持続可能な森林経営を展開するためには、壊れないしっかりとした作業道を作ることが必要不可欠です。

今回の研修では、銘木と名高い吉野杉の産地として有名な奈良県で林業を営む清光林業株式会社名誉副会長・岡橋 清隆氏を招き、壊れない作業道づくりについて学びます。

現在国内では、林業に携わる数多くの事業者が作業道を作っています。同社は奈良県内において約30年前から伐採に使う機材や伐り出した木材などを車両で運搬するための作業道づくりに取り組んでおり、これまで積み上げてきた技術とノウハウにより施工された作業道は『壊れない作業道』と呼ばれ、その総延長は約80kmにもなります。

全国的にも有名な同社の技術とノウハウを、この機会にぜひ学んでみませんか。\*岡橋さんは研修後、8月6日まで町内で作業道づくりの指導を行います。その様子も見学できますので、ご希望の方は農林課林業係へご連絡ください。

森林作業道の重要さ ~ 津和野の山で暮らし隊 ~

5月10日から23日の2週間、これからの自伐型林業に欠かせない「壊れない作業道づくり」を学ぶために、8月の研修でお世話になる清光林業株式会社へ先行して研修に行きました。

壊れない作業道づくりの手順は、まずどこに道を通すのが良いか、現場を歩くルート踏査を行います。次に邪魔になる木を伐採しながら少しずつ粗道を入れ、表土を取り除きます。さらに、その下にある硬い土を利用する『天地返し』と呼ばれる作業を行い、しっかりと転圧を繰り返します。そして、年月が経った時に路面はどんな状態になるかを考え、地盤がゆるい箇所や崩れやすい箇所などに必要であれば盛り土の末端や路肩での丸太組みを施します。この時、路面処理でも丸太を利用します。さらに、道が壊れる一番の原因である水の流れを地形から読み取り、路面での排水処理も行ないます。



作業道づくりの指導を受ける隊員たち

こうして壊れない作業道を作ることにより、間伐や木材搬出など山の手入れが容易になるだけでなく、災害時には砂防ダムとしての機能を持たせ、減災につなげることが可能となります。奈良県での2週間の研修を経て、次は私たちが津和野の山で作業道づくりを実践する番です。私たちに与えられた2カ所のフィールドで、ルート踏査、伐開、作業道づくり、間伐、搬出と一連の作業を行います。これまで学んできた知識と技術を、しっかりと現場で発揮できるよう実践経験を積み、将来的には皆さんの森林も管理できるようにがんばりたいと思います。